



11月 ひばりぐみだより

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。毎日のように、虫探しに期待を膨らませながら畑へ出かけています。しかし、以前は必ずいた生き物たちを見つけられなくなってきました。「虫がおらん!」「みつからない〜。」「冬眠しとるんかな。」と生き物たちの姿が見えなくなっていることに寂しさを感じています。



●生き物の鳴き声を探そう!●

年長さんが中心となり、身近な素材を使って音探し音作りをしました。探す音は、生き物の鳴き声!車の鍵や、釘、スプーンなどをこすったり、落としたりしてどのような音が出るのかを試します。

S君は、陶器のコップをスプーンでたたいてみることにしました。「チーン」という音に、「マツムシみたいやけど、ちょっと違うな…」と、次は小さいスプーンを持ってきました。先ほどよりも高い音に「これだ!」。同じスプーンでも大きさが違うだけで音が変わることに気が付いたようです。

音を探しながら様々な発見があり、それぞれが求めていた音を見つけることができました。そして自信をもって、見つけた音を友達にも紹介していました。見つけた音を優しく奏でると…まるで生き物たちの世界に入り込んだようです。



音で遊ぼう!

「生き物」「秋」をテーマに音遊びをはじめました。歌を歌ったり、身近な素材で音探しをしたり、曲に合わせて楽器を鳴らしてみたり…。アートフェスでは、音を楽しむ子ども達の姿を見ていただきたいと思います。

●あ～面白い虫の声～●

「虫のこえ」の歌では、虫の鳴き声に合わせて楽器を鳴らしています。どの楽器が虫の声にあっているのかを考え、カスタネットやスズなどの楽器を使うことにしました。どの楽器を使いたいかな尋ねると、あかぐみさんも次々と使いたい楽器を選んでいました。「あかとあおのがっきがしたい!」と人気だったのはカスタネットです。自分の好きな楽器を手に、鳴き声に合わせて嬉しそうにリズムを打つ姿はとてかわいらしいです。



●赤鬼と青鬼のタンゴ●

「赤鬼と青鬼のタンゴ」は子ども達が大好きな曲です。遊んでいる時にも自然と口ずさんでいるほどです。きっとお家でも歌っているのではないのでしょうか。

年長さんは、木琴やコンガなどの楽器に挑戦!楽器を鳴らす姿も様になってきました。歌っている時に思い切り楽器を鳴らすと歌声が聞こえなくなってしまいます。そこで、歌っている時は優しく、間奏の時はしっかりと音をならして音量を調節しています。そんな年長さんの姿にあおぐみさん、あかぐみさんも「かっこいい!」と憧れのまなざし。

子ども達が気持ちを乗せて奏でる「赤鬼と青鬼のタンゴ」は思わず体が踊りだしてしまいそうです。

